

平成16年（行ウ）第20号 八ツ場ダム費用支出差止請求住民訴訟事件

原告 柏村忠志 外20名

被告 茨城県知事 外1名

**証拠説明書（甲B35～B53）**

2007年（平成19年）7月18日

水戸地方裁判所民事第2部 御中

上記原告ら訴訟代理人

弁護士 谷 萩 陽 一

弁護士 五 來 則 男

弁護士 坂 本 博 之

弁護士 広 田 次 男

上記谷萩陽一訴訟復代理人

弁護士 丸 山 幸 司

外

甲 B	証拠の標目	作成年 月日	作成者	立証趣旨等	原 本
35	国会議事録	S38.6.2 6開催	衆議院 建設委 員会	河川法63条などに基づく「国が都県の意見を聞く」について、政府委員が、「各県の知事さんの意見を聞きながらやる。こういうことではございまして、事実上は協議というようなこととなりますが、法文上は都道府県知事の意見を聞く、こういうようなことになっておるわけではございませぬ」と答弁していること。	写
36 の 1	利根川直轄河川改修費および利根川上流部の多目的ダム建設に要する費用（洪水調節に係るものに限る）についての関係都県の負担割合について （照会）	S56.1.2 2	建設省	昭和56年1月22日に、利根川水系工事実施基本計画改定時に変更された直轄河川改修費及び利根川上流多目的ダム建設費用の負担率につき、関係都県知事が意見を求められていること。	写
36 の 2	同上 （回答）	S56.2.2 3	被告茨城県知事	上記照会に対して、関係都県知事が、同意の意見を述べていること	写
37 の 1	八ッ場ダムの建設に要する費用の負担について （照会）	H15.12. 8	国土交通省	平成15年12月8日に、八ッ場ダム基本計画の変更時に変更された費用負担率について、関係都県知事が意見を求められていること。	写
37 の 2	同上 （回答）	H16.3.1 8	被告茨城県知事	上記照会に対して、関係都県知事が、同意の意見を述べていること	写
38	「利根川水系利根川浸水想定区域図」「利根川水系江戸川浸水想定区域図」の公表について	H17.3.2 8	関東地方整備局	国土交通省が、「現況の断面で、現況の洪水調節施設で流出計算を行った場合、上流部で氾濫した上で八斗島のピーク流量は16750m <sup>3</sup> /秒となる」との数値を算出し、発表していること	写

39	行政文書開示 決定通知書	H18.1.1 0	関東地 方整備 局	同上	写
40	行政文書不開示 決定通知書	H18.2.2 3	関東地 方整備 局	2005（平成17）年3月公表の浸水 区域図の計算において、利根川上 流部のどこで氾濫したのか、それ を示す資料の開示を関東地方整備 局に求めたところ、そのような資 料はないという不開示決定通知書 が届いたこと。	写
41	昭和22年9月 大水害の実相	S22.9	群馬県	カスリーン台風当時、八斗島地点上 流部の田畑の被害面積が130km <sup>2</sup> 程度 であること。 この被害面積は連続降雨による冠 水被害も含まれており、必ずしも すべてが氾濫によるものではない こと。 この値から推測すると、田畑以外 のところを含めても、氾濫面積は 大きく見てもせいぜい200km <sup>2</sup> 程度 であると考えられること。	写
42	石狩川水系の流域 及び河川の概要 （案）	H16.3	国土交 通省河 川局	石狩川の氾濫面積と氾濫戻し流量の 関係のシミュレーション。 氾濫戻しによる増加流量（氾濫が なければ増加する流量）は、氾濫 面積100km <sup>2</sup> あたりでは120～560m <sup>3</sup> ／秒とされている。多少バラツキ はあるが、平均で370m <sup>3</sup> ／秒、最 大で560m <sup>3</sup> ／秒であること。	写
43	利根川水系の治水 計画に関して 他資料要求回答	H14.1.1 0	建設省	基本高水流量の計算モデルの検証に 用いられた二洪水（昭和34年8月洪水 及び昭和33年9月洪水）の実測値と計 算値	写
44	流量年表	S33, S34	建設省 河川局	昭和34年8月洪水及び昭和33年9月洪 水の最大流量の実績値	写
45	利根川水系 河川整備基本方針 基本高水等に関す る資料（案）	H17.12. 19	国土交 通省河 川局	国土交通省の作成した二洪水につい てのグラフが、正確な数値を反映し ておらず、かつ、正確な数値を用い てグラフを作成した場合、計算値の	写

				グラフの軌跡と実測値のグラフの軌跡との間に相当のずれが生じるのに、国土交通省は、計算値と実測値との間にずれがほとんどないかのようにグラフを作成していること	
46	行政文書開示 決定通知書	H18.8.2 2	関東地 方整備 局	平成13年9月洪水における岩島の最大 流量等	写
47	八ッ場ダム 治水計画検討報告 書	S61.3	建設省 八ッ場 ダム工 事事務 所	① 八ッ場ダムの計画流入量がきわ めて過大に計算されていること ② 建設省が、引き伸ばし計算にお いて、計画値と異なる数値が算 出された場合に、引き伸ばし計 算結果を計画値に合致するよう に不合理な操作をしていること	写
48	意見書	2006.5. 24	蔵治光 一郎	「森林は中小洪水では洪水緩和機能 を発揮するが、大洪水では顕著な効 果を期待できない」とする被告らの 主張は合理的な根拠を欠くこと	写
49	八ッ場ダム事業費 変更内奥（案）に 係る意見・質問に 関する回答	H15.10. 8	関東地 方整備 局	利根川水系工事実施基本計画におい て目標とされている計画容量（治水 容量）のうち、上流部で4億9770万 <sup>m</sup> <sup>3</sup> が不足しており、利根川水系工事 実施基本計画が達成可能性のない目標 を設定していること	写
50	利根川水系 河川整備基本方針 基本高水等に関す る資料（案）	H17.12. 19	国土交 通省河 川局	事業中の施設が完成した場合の治水 容量の不足分について、利根川水系 工事実施基本計画では5億1460万 <sup>m</sup> <sup>3</sup> （6億3870万 <sup>m</sup> <sup>3</sup> から事業中施設の治水 容量の合計1億1240万 <sup>m</sup> <sup>3</sup> を控除した数 値）とされているのに、平成18年に 策定された利根川水系河川整備基本 方針では、3億5000万 <sup>m</sup> <sup>3</sup> と大きく変更 されていること	写
51	利根川水系 工事実施基本計画 利根川水系 河川整備基本方針 （案） 対比表	H17.12. 19	国土交 通省河 川局	烏川河道内調節池と下久保ダムの治 水容量増量が大きな効果をもたず、 治水容量の不足が解消される見込み はなく、利根川水系河川整備基本方 針が達成可能性のない目標を設定し ていること	写

52	新聞記事	2007.2. 6	上毛新聞社	国土交通省が下久保ダムの治水容量を現状の2.4倍に増やすと発表したこと	写
53	行政文書開示 決定通知書	H18.10. 30	関東地方整備局	吾妻溪谷の洪水貯留効果についての国土交通省の評価内容は実際の洪水の状況とかけ離れていること	写

以上